

01.『目覚めた森で、エルフさんにおならで介抱される』より

さあ、まずはお体の力を抜いて…それから、目を閉じて。

すうー…はあー…。

そうです、そのまま…。

んっ…。

[空気の抜けるような、かすかな音が聞こえる] (00分26秒～)

ふう…。

さあ、ゆっくりと、息を吸って…吐いて…。

いきますよ…よろしいですか？

…ん。

[控えめな音とともに、エルフの腹のなかの香りが放たれる] (00分46秒～)

はあ…。

このままわたくしと、お体を合わせて。

真正面からぴったりと…。

旅人様の熱くて硬いもの…腹のところに、感じます。

つ…。

[ごぽぼ、と下腹部の震える感触が、へそに押し付けられたペニスを伝う]

くすぐす…。

はい。また、出そうです…。

よろしいですか？

んっ…。

[静かな音とともに、エルフのおならが森に放たれる] (01分29秒～)

んふ…。

ふふっ…お分かりに、なりましたか？

腹がわずかに、へこんだのが。

さあ、お鼻からゆっくりと息を吸って…お口から、吐いて…。

…んっ。

[熱くて長いすかし屁が、森の空気のなかに攪拌されていく] (01分59秒～)

ふー…。

02.『泉の中でエルフさんに尻コキされながら…』より

…ふふ。

よろしいですよ…？

わたくしの髪にお鼻をうずめて、そのままゆっくりと深呼吸なさって。

[腹がごぼ、と鳴るかすかな音]

んっ…。

いきますね…？

ん…。

[水のなかでそっとおならをする音] (02分28秒～)

ふー…。

えへへ、水の中でしました。

すん、すん…。

やっぱり、くさいですよね？えへへ…。

旅人様…どうぞ、わたくしの尻に、そそり立つものをあてがって…？

んっ…。

[水のなかでごぼ、おならをする音] (03分01秒～)

ふー…。

ふふ...あそこがびくんつしましたね...?
感じますか...?
ぴったりとあてがった裏のすじを、熱い気泡がなでてゆくの。
んつ....。

[水のなかでごぼり、とおならをする音] (03分26秒~)
んふ....。

ふふつ。けれどこれでは...匂いが混ざってしまいますね...?
わたくしの髪から香る匂いと、わたくしの放ったマナの匂い....。

03.『エルフさんに乳首をいじられながら...』より

...旅人様?
抱きしめて、くださるのですか...?
...ふふつ。本当に、変わったお方。
このままずっと、こうしてみたい....。
つ....。

[腹がごぼ、と鳴るかすかな音]
えへへ....。
よろしい...ですか?
では、このまま...
んつ....。

[控えめなおならの音] (04分28秒~)
んふ....。
...もっと、欲しいですか?
わたくしのくさくて恥ずかしい...お・な・ら♡
ふふつ、よろしいですよ....。
いま、この場所において、この身はあなた様のものなのですから...♡
...やっ、あんつ、旅人様っ...♡
だめ...そんな、いまお腹さすったら...おっきいの、出ちゃ...ん...!

[勢いよくおならが放たれる大きな音] (05分12秒~)
やだ、ごめんなさい...わたくし、はしたない音....。
...もう、旅人様ったら。仕返しです...♡
ふふつ....。

感じますか? 旅人様のかわいい、小さな乳首...♡
くりくり...こちよこちよ...♡
んつ....。

[からかうようなすかし屁の音] (05分48秒~)
んふ....。
えへへ....。

04.『エルフさんのお腹の音に耳をすませながら...』より

どうぞわたくしに、お体を預けて...。
そう。わたくしのお腹に、来て...?

[腹のなかにこだまする様々な音]
んつ...わかりますか?
わたくしのおならが、できる音。

ふふつ...はい、旅人様。出そうです...♡

お腹にぴったり耳を当てたまま、わたくしのおなら...お聞きなさって...?

ん...。

[お腹ごしにおならが放たれる低い音] (06分44秒~)

んふ...。

ふふつ...お腹ごしに直接、聞かれてしまいましたね?

いかがですか...?

森の恵みの匂い、でしょ...?

んつ...。

[お腹ごしに控えめなおならが放たれる音] (07分06秒~)

ふー...。

ふふつ...マメと、タマゴの匂い...でございますか?

やだ...♡

わたくしが昨晚いただいたもの...ぜんぶ、嗅がれてしまいましたね...?

ん...。

[お腹ごしに長いすかし屁が放たれる音] (07分29秒~)

んふ...。

いまはわたくしに、身をゆだねて...。

05.『エルフさんのやわらかいお尻に顔をうずめながら...』より

た、旅人様...本当に、よろしいのですね?

では、出口にお鼻をあてがって...?

つ...。

[ごばり、と音を立てて彼女の腹が震える]

いきますよ...?

この森に生ける命の恵み...あなた様に、ささげます...。

んつ...。

[目の前の門から吹き出した熱風が、鼻先へと吹きかけられる] (08分14秒~)

はあ...ん...♡

気持ちいい...♡

どうぞ、胸いっぱいに、深呼吸して....。

んつ...♡

[再び鼻先に、熱いそよ風が吹きかけられる] (08分34秒~)

んふ...♡

ふふ...旅人様。どうぞもっと、密着なさって...?

そう。お顔をぎゅうっと、うずめなさって...。

んつ...。

[ごぼぼぼ...と怪しい音を立てて、彼女のなめらかな下腹部が張りつめていく...]

ふふつ...わかりましたか?

お尻の穴がひくひくって動いたの。

いきますよ...♡

お腹がゴロゴロするエルフの、朝の一番濃いおなら...

どうか余さず、受け取って...?

ふ、ん...♡

[密着させた鼻孔に、熱い香りがそのまま注ぎ込まれてくる...] (09分24秒~)

は...あ....♡

ああ...わかりますか...?

あつい香りがお鼻をのぼって、胸をいっぱいに満たすのが...♡

もっと、わたくしを感じて…？

んっ…♡

[マメとタマゴに似た恥ずかしい香りが、鼻孔を満たしていく…] (09分48秒～)

はあ…♡

旅人様の熱い呼吸、お尻の穴で感じます…♡

ふふっ…くさくって、気持ちよくなっていますね？

ん…♡

[エルフの腸内で熟成されたマナが、鼻孔を埋め尽くし肺を満たしていく…] (10分11秒～)

ふー…♡

わたくしが食べた森の恵みが、おならとなって放たれて…。

鼻から入って、胸を満たして、痛みと疲れを和らげてゆく…。

ん…♡

[ないまぜになった森の香りが、嗅覚と意識を急速に塗りつぶしていく…] (10分33秒～)

んふ…♡

悩み、苦しみ、すべて忘れて…今だけはただ…。

安らかに…。